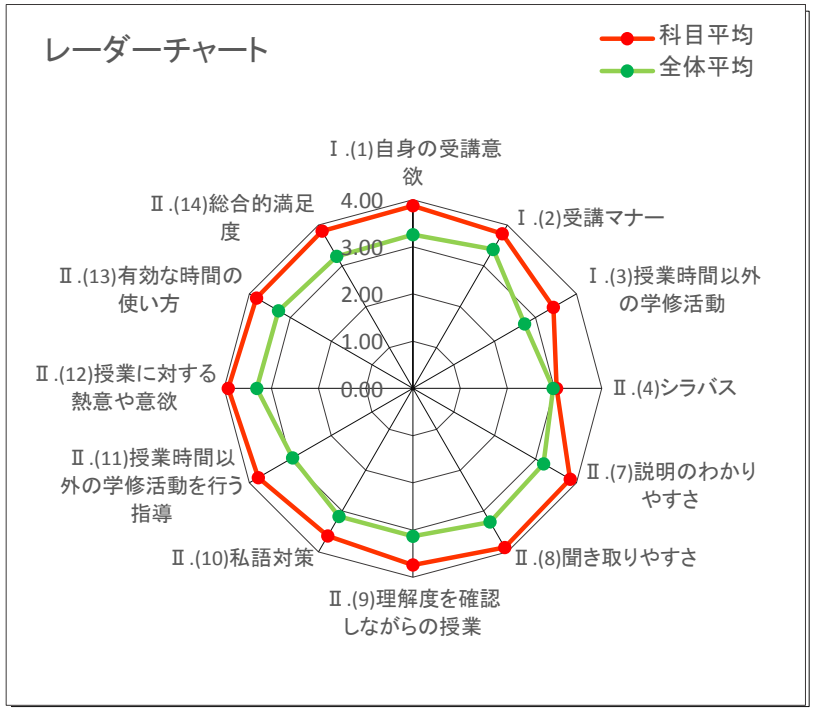
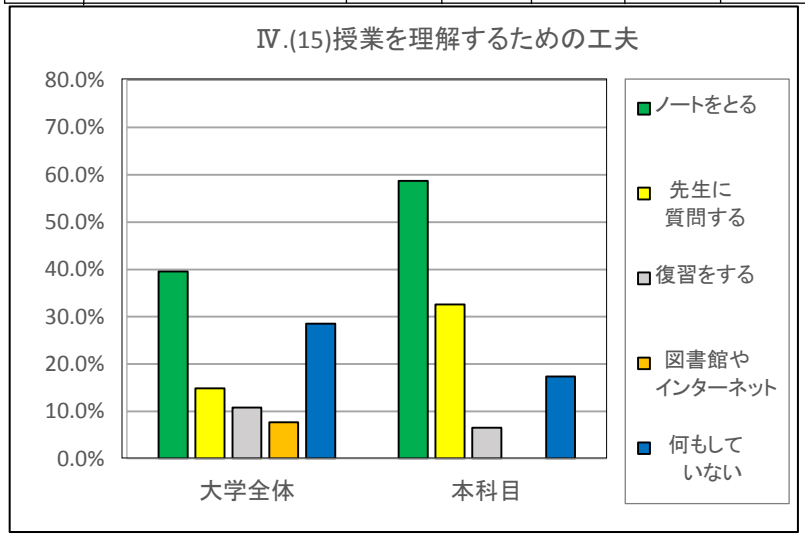
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.87	3.26
	Ⅰ.(2)	3.78	3.40
	Ⅰ.(3)	3.43	2.73
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	3.04	2.97
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.85	3.20
	Ⅱ.(8)	3.89	3.27
	Ⅱ.(9)	3.74	3.13
	Ⅱ.(10)	3.61	3.13
	Ⅱ.(11)	3.78	2.94
	Ⅱ.(12)	3.91	3.31
	Ⅱ.(13)	3.83	3.29
満足度	Ⅱ.(14)	3.85	3.23

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2,（あまりそう思わない）、1（そう思わない）

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(15)	授業を理解するための工夫	58.7%	32.6%	6.5%	0.0%	17.4%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.70	3.13
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(13)	3.71	3.15
総合的満足度 Ⅲ.(14)	3.85	3.23

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2014年度　前期
時間割番号	52103
科目名	教職入門B（中等）
教員名	

①授業計画の達成度について

受講意欲やマナーを高められた要因として「授業の目的を認識させた」ことがある。1時間の予定を予め学生に授業冒頭で伝えるようにしていた。
アンケート結果はもちろんだが、「教職入門B」の授業科目特性を見る限り、適切な到達目標と難易度であったと考えている。

②授業の進め方について

学生のアンケート結果は高い。「言葉で言い表すのは難しいけど、心に残るものが多く、人生のためになった」「自分を成長させる内容が多かった」「濃い授業ができた。この授業はいつまでも心に残ると思う」「自分を出していくことのできる授業だった」「自分を見つめ直すことができた。教師になるための自分へ変化するための第一歩をふみ出せたと思う」「たった3ヶ月でこんなにも成長できるなんて思ってもみてなかったです。とても自分にとって価値のあるものだったと思います」学生たちの素晴らしさに感謝である。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

大教室の講義形式授業からの脱却を模索し、毎年自分なりの改善を学生の声を踏まえて行ってきた。その努力と、本年度は全体で履修者が111名で人間教育学部の学生だけの受講であったこと、その学生たちが素晴らしかったことを要因として想定以上の成果をあげることができた。

奈良学園大学